

受講コース

- PLCによる自動化制御技術

在職者訓練での訓練内容

- シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、安全性向上に向けた自動化制御実習を通して、生産設備設計の実務能力を習得する。
 - ・ PLCと負荷装置の配線
 - ・ 開発ツール（ラダーサポートソフト）を用いたプログラム作成
 - ・ 模擬自動化制御ラインを用いたプログラム設計

企業での活用

株式会社TCC（広島県広島市）

- FA/制御分野、生産管理分野、品質管理分野、Webサービス関連のシステム化をしています。

【開発事例】生産指示システム

○ライン側 PLC へ生産指示情報を授受するシステムです。

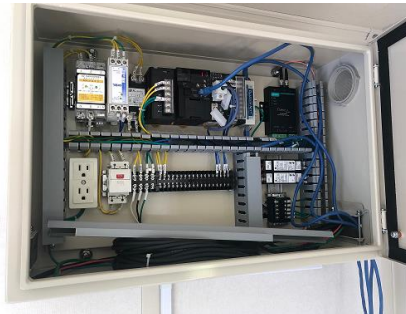
【開発環境】

○PLC : MELSEC PLC
付帯機器：QRリーダー、タッチパネル
開発言語：ラダー、VisualBasic.NET

【導入効果】

○ホストからの指示により順序生産が行えるようになり無駄な製造を減らすことができた。

- ポリテクセンターの在職者訓練は、毎年受講しており、令和2年度は6コース12名の従業員が受講しました。



受講者の声

- 私は主に物流の自動仕分けに関する業務に従事しており、実際の現場ではPLCを使って仕分けの制御が行われています。
- 受講する前まではPLCについて漠然とした知識しかありませんでしたが、在職者研修を通じて実際に自分でPLCに触れ、動作させる事により、実務にも活かせる知識と体験を得ることが出来たと思います。



技術本部 M. K 氏

担当者の声

- PLCの制御技術は、座学だけでは身に付かず、ハード・ソフトの両方を自身で経験し、失敗も重ねながら成長します。
- 研修では、PLCだけではなく、各種制御機器を用い、制御の応用を体験してくれました。
- 今後も技術力向上のため受講予定です。



執行役員
勇知 彰博 氏